

暖かい住まいは人を護る 高齢者の健康維持に大切

一般財団法人ベターリビング・サステナブル居住研究センターは、「人は住まいとともに生きる」という題名の、生活者向けリーフレットを作成し、11月11日に発表した。

これは、健康長寿住宅エビデンス取得委員会(委員長:高橋龍太郎地方独立行政法人・東京都健康長寿医療センター研究所副所長)が、これからの寒い季節に向けて、住まいの断熱や設備による温熱環境改善と健康維持の関係について、平成23年より行なった実験結果をリーフレットにまとめたもので、その研究の目的は次の通りとしている。

- 生活者に冬場の住宅の温熱環境と健康維持の関係や住まいの断熱性向上の重要性について広く知らせ、特に高齢者の健康維持に役立たせる。
- 住宅に関する事業者が生活者に、住宅の温熱環境の重要性を説明し、その向上を薦めるのに活用する。

壁装新聞(第417号)より引用